

2019 シニア女性映画祭・大阪 Senior Women's Film Festival in Osaka

死んだるひまはない

2019 11/30(土) - 12/1(日)

すてっぷホール (定員148人)

とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ
エトレ豊中5F (阪急宝塚線豊中駅下車すぐ)

「浜辺のルイズ」



「死んだるヒマはない」



「ニューヨークで暮らしています」



「勇気ある外交官
ディアナ・アップカー」



「60代から輝いて生きる」

- ◆チケット 各プログラム 前売り800円 / 当日1000円 (入れ替え制)
各1日通し券 1300円 2日通し券 2300円
(高校生以下・80歳以上・車いす利用者、介助者は無料)

◆前売り予約: sister-waves@qc.fem.jp

携帯: 090-2700-4557

主催: 「波をつくる女たち」シスターウェイブス

Blog: sisterwave.exblog.jp <http://sister-waves.fem.jp>

協力: アンスティチュ・フランセ関西 / フリークの女たちの会

協賛: とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ

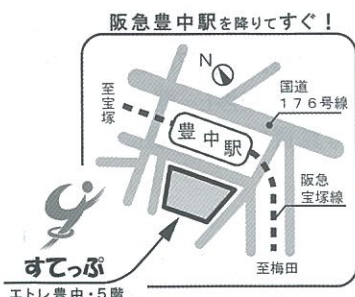
(指定管理者 一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団)



sisterwaves



アンスティチュ・フランセ関西
Japan・Kansai



一時保育あり: 1歳から小学3年生まで、子ども1人1回(映画1本につき)550円(税込)

※必読・11月15日(金)まで「波をつくる女たち」

11/30 (土) 10:00 開場



「死んだらヒマはない — 益永スミコ 86 歳」

◆ゲストトーク 森一女さん
監督 松原明・佐々木有美
ドキュメンタリー / 70分 / 2010 / 日本

草の根の平和運動家・益永スミコさんは1923年大分県生まれ。「軍国少女」として育ち、何も疑いもなく助産師として兵士を戦場に送り続けてきた。戦後、国に騙されたと感じ、47歳で労働組合を作る。「もう二度と人殺しに加担しない」と街頭に一人立ち、平和運動に全力をそそぐ。2018年没。94歳。

【監督紹介】

1989年、自主ビデオ制作集団「ビデオプレス」設立。労働・反戦・医療・環境問題など制作。代表作「人らしく生きよう—国労冬物語」「いのちを楽しむ〜容子とがんの2年間」最新作「メロディーブルース三部作」は大ヒット!

11/30 (土) 13:15 開場



日本初上映!

「浜辺のルイズ」

◆ゲストトーク 西岡恒男さん
監督 ジャン・フランソワ・ラギオニ
アニメーション / 75分 / 2016 / フランス・カナダ / 仏語 (日本語字幕)

浜辺の別荘でひと夏を過ごしたルイズは、夏の最後の列車に乗り遅れた。公衆電話は故障、隣り近所も無人、ひとり取り残されたルイズは一冬をそこで過ごす覚悟を決めた。

【監督紹介】

1939年生まれ。フランスのアニメーターの第一人者のひとり。1978年、短編映画でカンヌ映画祭金賞、セザール賞を受賞。この作品で オタワアニメ 国際映画祭でグランプリを受賞。

交流会

11月30日 (土) 15:30~17:30
「私がシニア女性映画祭に来る理由」みんなで語ろう!

すてっぷ視聴覚室
会費 1500円 (茶菓子付)
30人まで (先着順)
申込: sister-waves@qc.fem.jp
*予約締切: 11月20日

12/1 (日) 10:00 開場

「ニューヨークで暮らしています—彼女たちがここにいる理由」



◆ゲストトーク 監督泉悦子さん
監督 泉悦子
ドキュメンタリー / 72分 / 2006 / 日本
ニューヨークで暮らす30~60代の4人の女性たち。仕事も家族構成も様々。共通点は30歳前後で日本を脱出!?したこと。育児と仕事、残して来た親の介護など女性共通の問題に悩みながら自己実現していく女たち。なぜ日本でなくニューヨークなのか。

【監督紹介】

記録映画社でドキュメンタリー映画の基礎を学び、独立。教育・PR映画を監督。2008年「心理学者原口鶴子の青春 100年前のコロンビア大学留学生」で山路ふみ子映画賞福祉賞受賞。



「60代から輝いて生きる」

◆ゲストトーク 監督エンドウノリコさん
監督 エンドウノリコ
ドキュメンタリー / 30分 / 2019 / 日本

今が一番幸せという石浜繁子さんは60歳で保育士の国家試験に合格、74歳で絵本文庫を始めた。そのほか、手話歌・博物館ガイド・ヘルパー・画廊・DV支援など、60代から新しく活動を始めた6人の女性たちは、私たちに勇気をあたえてくれる。

【監督紹介】

1993年よりビデオ工房 AKAME で制作活動。2019年1月あかね工房をスタート。代表作は「おひとりさまを生きる」「あなたは悪くない」など。「60代から輝いて生きる」は第9作目。

12/1 (日) 14:00 開場



日本初上映!

「勇気ある外交官ディアナ・アプカー」

◆ゲストトーク ホワニジャン・アストギクさん
監督 ミミ・マラヤン
ドキュメンタリー / 79分 / 2019 / 米国 / 英語 (日本語字幕)

世界初の女性外交官アルメニア人のディアナ・アプカー(1859-1937)。オスマントルコによるアルメニア人大虐殺で必死に逃れる同胞を救うために、横浜の彼女は日本政府と交渉し、難民に必要な行動をとる。関東大震災で失った写真資料を日本風に筆と墨で描く。監督は曾孫。

【監督紹介】

サンフランシスコ生まれ、亡き叔父の箱からディアナ・アプカーの資料を見つけ、その勇敢な生涯に魅了される。映画化して多くの人に伝えたいと、7年の歳月をかけて本作品を製作。米国各地で上映中。